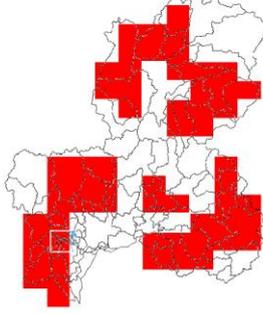


カワチブシ	<i>Aconitum grossedentatum</i> (Nakai) Nakai	絶滅危惧Ⅱ類
		キンポウゲ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。また、大部分の個体群がその再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	写真(山崎玲子)
形態の特徴	茎は曲り、長さ80-150cmになる多年草。余り分枝しない。中部の茎葉は円心形で、3深裂し、側裂片はさらに2深裂する。花期は9-10月。花序は総状また小型の散房状。	
生態的特徴	林縁や林内に生える。	
分布状況	日本固有の種。関東地方西部、中部地方太平洋側、紀伊半島に分布する。県内では県北・県南の広い地域に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県内のかなり広い地域にわたるが、もともと生育個体数は多くない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要のある場合は、生育場所を特定できることのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良